

平成 30 年度第 4 回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 平成 31 年 3 月 26 日（火）14：15 ～ 15：40
- 広島港湾振興事務所大会議室（広島市南区宇品海岸二丁目）

2 出席者

- 委員 15 名出席（2 名欠席）

3 議事要旨

（1）協議会の進行

- 平成 30 年度第 3 回協議会の議事概要の確認
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 地域振興策について

（2）発言要旨

【平成 30 年度第 3 回協議会の議事概要の確認】

（意見なし）

【廃棄物の受入実績等について】

（意見なし）

【処分場の維持管理状況等について】

（意見なし）

【周辺環境の調査結果等について】

（意見なし）

【地域振興策について】

（会長）前回の協議会において、正式にサッカー場の場所が決定後、全体共有施設等整備事業の内容を協議してはどうかと提案があったので、改めて当事業についての皆様の意見を伺いたい。

（地元委員の意見）

- ・ 随分前の決め事であり、今の段階でこの施設が必要なのかという思いがある。また、現在、公園のグラウンドは幅広くスポーツの広場として使われている中で、大型テントを作るのであれば、どの位置にどれくらいのものでいいのかイメージが湧かないし、それ相応の理屈付けが必要ではないかと思う。
- ・ 例えば、派出所などの地域の役に立つものにしてはどうかという思いもある。白紙に戻すというのもどうなのかなとも思うが、一体どこまで戻して議論するのか。施設を作るとなると、その後の運営や補修をどうするかという話があるので、そこをきちっとやれるのかという思いがある。

- ・ まず、この施設を作るのか作らないのかを決めて、作らないのであれば、どのような方向に持っていったらよいかという形にしてはどうか。この施設を作るとしても、各地区の納得を得るのは難しいのではないか。個人的には、こんなに予算をつけているのであれば、地域ごとに考えて、集会所などの公な施設の不備な箇所を整備する方が、地域としてメリットがあると思う。また、構造物は、耐用年数があるし、維持管理の話になった時に、県の方で面倒みてくれるのかという思いがある。
 - ・ 当時決定した際には、色々な形でアンケートも採ったが、考え方としては、地域全体の振興策で何をやるかということであった。その中で3案まで絞られ、最終的に、全天候型の施設がいいのではないかとこのところまで整理されていたと思う。メンバーが変わって、もう一回考え方を整理するのは結構であるが、公園の中に作るわけなので、どこの場所にどう整備するのかということもあるし、公園には公園としての制約がある。もし、全天候型の施設で進めていくとしても、公園の中で場所を決めて、こういうものができるかどうかは、より具体化してみないとイメージが湧かない。
 - ・ 出島に限ることではないが、地震で津波が来た際の避難場所を作るという案もある。それであれば、どこの地区ということもなく、出島処分場のおかげで、こういうものができたということになり、いいのではないか。
 - ・ 当時も防災施設はどうかと言わせてもらった。防災ヘリの発着場があって、それを囲う公園がある。東京の公園だったと思うが、ベンチを木製にして、災害時には薪にできるようにしてあり、脚が金属製で、煮炊き場所になるよう工夫してあったり、地下に穴が掘ってあり、トイレに改造できるようにしてあったりした。また、出島の方にデイキャンプ場を作れば、維持管理する費用を賄えるのではないかとも言った。野菜や肉などの材料を提供するレストハウスを作って得る収益やテントの貸出料で維持管理できるのではないかという提案もした。
 - ・ 防災のことも考えると、過去にも台風で被害を受けたこともあり、建物の中に一時的に避難できることも考えないといけないのではないか。
- (事務局) 本日いただいた御意見をまとめて、今後の話の進め方と併せて案を作り、次回の協議会で協議させていただきたい。

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)